



ざまたん
座間小キャラクター

校長だより

座間市立座間小学校（電話 251-0009）
校長 大谷 一

6月6日には5年生が田植えをしました。初めての体験でワクワクドキドキした児童が多かったと思います。私も人生初めての体験でしたがとても楽しいひと時を過ごしました。田んぼでの田植えができる小学校はほとんどないと思います。座間小学校の素晴らしさを実感した瞬間でもありました。これからも多くの体験活動を取り入れて子どもたちの豊かな心を育んでいきたいと思っています。



5年生 田植え



コミスクのボランティアバッジ

教育DX（デジタル・トランスフォーメーション）は、デジタル技術を使って授業改善をしたり、学校の業務改善をしたりします。改善というよりも変革と捉えられています。現在普通教室には大型モニターが1台あり、児童1人に1台のクロームブックが配当されています。授業でのクロームブック利用も一般的な風景になってきました。授業の変革は日々進んでいて、研究校の授業を参観すると、先生が主導で使用するという段階から児童が主体となって使用したり、授業中に児童と先生が双方向でやり取りをしたものをその場で共有したりするようになってきています。今まではプリントを先生が確認していたものも、AIによる自動採点を取り入れ始めている学校もあります。学校は日々ビックデータが蓄積されるので、AIを活用するという方向に変革がすすめばAIを活用できる場面はたくさんあると思います。AIといえば、「チャットGPT」が学校教育にどのような影響を与えるのか、その活用の検討も進められています。学校からのお知らせも紙からデジタルに代わっていくなどすすめられていくこととなります。学校を取り巻く環境は変革していくと思いますが、教育活動自体はデジタルではなく、人間ならではの体験を大切にしていきたいと思っています。

5月、6月に連続して、下校中に歩道橋の上から児童が下を通行する自動車に物を投げるといふ事件が座間小学校で発生しました。自動車を傷つけられたという訴えが学校に入りました。そのうちの1件はドライブレコーダーに事件当時の映像の記録があるので被害届を警察に出すという申し出がありました。その後の話し合いによって被害届を出すことにはなりませんでしたが、しかし、大人にとってみれば、落下物によっては死傷者が出るような大きな事故につながる可能性があるということや、車両の修理など補償の問題も発生する大きな事件だという認識がもてる事件だと思います。しかし、子どもにとってはこの事件の重大性が十分に伝わっていないから、再発しているのではないかと考えています。各学級担任からは重ねてきめ細やかな指導をしておりますが、ご家庭においても大きな事故につながることを是非お子さんに教えて欲しいと思います。このようなことが再び起こらないようにしていきたいと思っています。